今どーなの？これからどーする？

ワークショップのフィードバックから

「教職員・保護者・地域の方々との対話」

令和３年１０月３０日（土）実施

令和３年１１月●●日（◎）
和光市立広沢小学校

コロナ「制限から新たな活動・関わりへ」

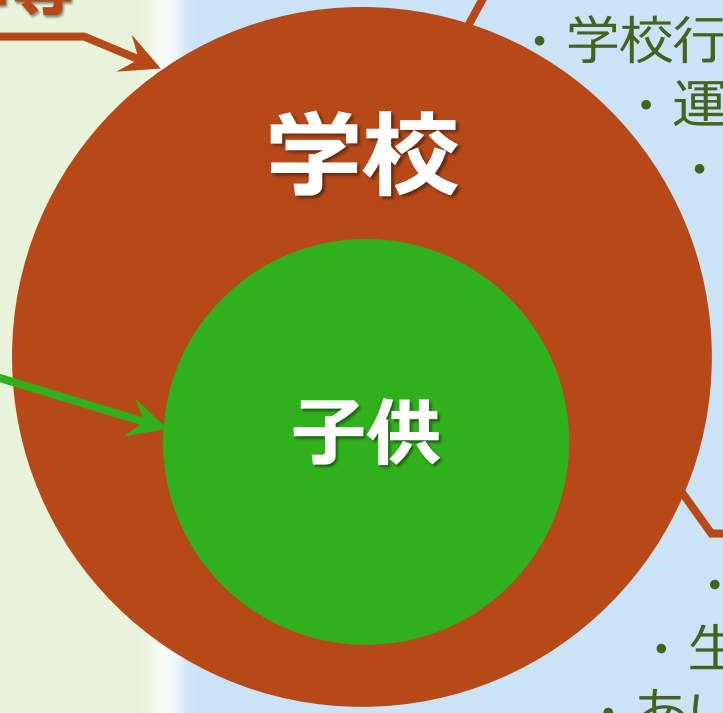
現状や課題

制限された学校生活・行事等

・イベントできない→行事精選
・班活動などできないこと多い

制限された子供の行動

・子供たちがかわいそう（マスクや黙食）
・声を出せているか
・あいさつできているか
・制限が多く自由がない
・分散後成長した子供



今後の方向性

新たな学校生活・行事等の方向性

・コロナと共存
・思い切って戻してみる
・学校行事ができるように
・運動会で取り戻す
・表情や発声トレーニングを取り入れる
・音楽をかける
・身振り・手振り
・子供同士で何かチャレンジ

保護者・地域の関わり等

・親が学校に来る機会を増やす
・生活科・総合で地域と関わる
・あいさつ運動、大人から子供へのあいさつ
・学校外での学び　・地域も来校、授業参観
・やってあげたい→今何ができるか知恵を出し合う

ICT　「子供の積極的活用と大人の対応」

現状や課題

タブレット活用

◎一定の成果

・扱いはよい　・楽しい　・有効である
・興味関心を引く　・慣れるのが早い
・子供に考えさせられる

△課題が明確に

・個人差ある　・難しい　・実態はどうか？
・技術に使われてしまっている

ゲーム・SNS等

□現状

・YouTubeやSNSで情報を得ている
・ゲームやる子が多い

△課題

・時間の使い方　・ゲームやりすぎ
・SNSの使い方△　・ルールが甘い

ICTへの現状

・ネット環境が整っていない家庭もある
・Zoomで家にいある時間が多い社会人
・子供の現状を知らない（スマホ持ってる？）

子供

保護者
家庭

管理

学校
教員

指導

連携・協力

今後の方向性

活用の拡充

・機会を増やす（日常）　・サブとして活用
・授業での活用（TV電話でお仕事紹介・世界の様子を知る）
・学校閉鎖中の授業への活用

専門性向上

□研修

・親子・教員の研修（情報モラル・スキルなど）

□専門人材の活用

・専門の先生・ゲストティーチャー

□専門的指導

・メディアリテラシー

管理体制整備

□子供を見守る

・時間・ルールを決める　・制限をかける
・ゲーム以外の楽しいことを増やす

自治体等

フォローアップ

□情報収集と周知　**□予算等**

・他自治体との情報共有　・自治体の予算化・法整備等

子供　「体験を通して人間力を育む」

現状や課題

資質・能力・性格等

明るく優しい反面、やや弱い

・よく頑張っている　・適応力ある　・繊細な心　・個性的
・素直で明るい　・元気で優しい　・隠さない
・友だちをつくれる、転入生を受け入れる心がある
・我慢が足りない　・ふてくされやすい　・気が弱い　・打たれ弱い

体力低下心配

・体力・学力優れている　・運動能力・体力低下　・体できていない

様子

・楽しそう　・友だちに悩む子多い
・外国人孤立　・ゆとりない、忙しい
・勉強の意義わからない　・学習用具揃わない
・自粛も多い　・近くに遊ぶ子がいない

活動

・外遊びよくする⇔外で遊ばない
・あいさつがよい　・残食多い
・いろいろな人と関わる
⇔地域の大人との触れ合いが少ない
・タブレットをよく触る

学校への思い

・毎日学びがある　・宿題を増やしてほしい　・連絡帳はどうなっている？
・行事は子供主体で（児童活躍、負担軽減）　・不登校・登校渋りへの対応
・ルール多すぎ　・クラスの一体感大切

大切なこと・子供への願い

・早寝早起き朝ごはん　・自分なりの楽しみをもつ
・子供の特徴を知る　・考える力を育む　・心を育てる　・外遊び
・学習への意欲　・体験活動を充実　・いろいろな人と関わりをもつ

疑問？わからないこと

・様子がわからない　・食生活は？　・何して遊んでいる？　・子供の興味は？

今の子供たち

大人の思い・願い

支援

共有・連携

学校

今後の方向性

具体的な子供の活動

【関わり】・手紙を書く　・成功者の話を聞く
【ICT】・プログラミング　・タブレット継続→慣れていく
【体力】・マラソン大会
【学習】・アクティブ・ラーニングにICTを活用
【体験】・外遊びの時間を増やす　・体験を増やす
【その他】・必要のないものは学校に置く

大人の行動

・知恵を出し合う　・いいところも共有
・国にどうにかしてもらう　・防犯パトロール
・変化を見逃さない　・子供との約束（ルール等）
・（ゲーム等）時間で制限する　・子供と話し合う
・地域連携、児童館活用　・外国人交流スポット
・意識して出かける　・イベントをつくる

子供への支援・関わりの方向性

・やりたいことを応援　・なりたい姿をもてるようにする
・将来を見据えた指導　・運動好きを増やす
・たくさん体験・何事も経験　・明るさ・素直さ大切に
・自主性を大切に　・社会全体の活気

家庭・地域　「共有・協働を通してつながりづくり」

現状や課題

地域からの関わり

気になる子供
- 暗いときに遊んでいるのを見かける　・帰宅時間があいまい
- あいさつできた　・すぐけがをする

遠慮しがちな関係…
- 子供に注意できない　子供の権利はどうなのか？
- ビシッといえる人が必要　・新設プールで水泳指導をやりたい

さらなる地域との関わりを願う
- もっと街に出てほしい　・地域活動で何かしてほしい
- おばあちゃんと知り合いになってほしい
- インクルーシブ

学校への思い

閉鎖的なイメージ
- 閉鎖的　・学校のスタンスは？
- 地域の幼児の参加できる仕組みがない
- 学校が地域に望んでいることがわからない
- 先生の顔や名前が見えない　・学校が見えない

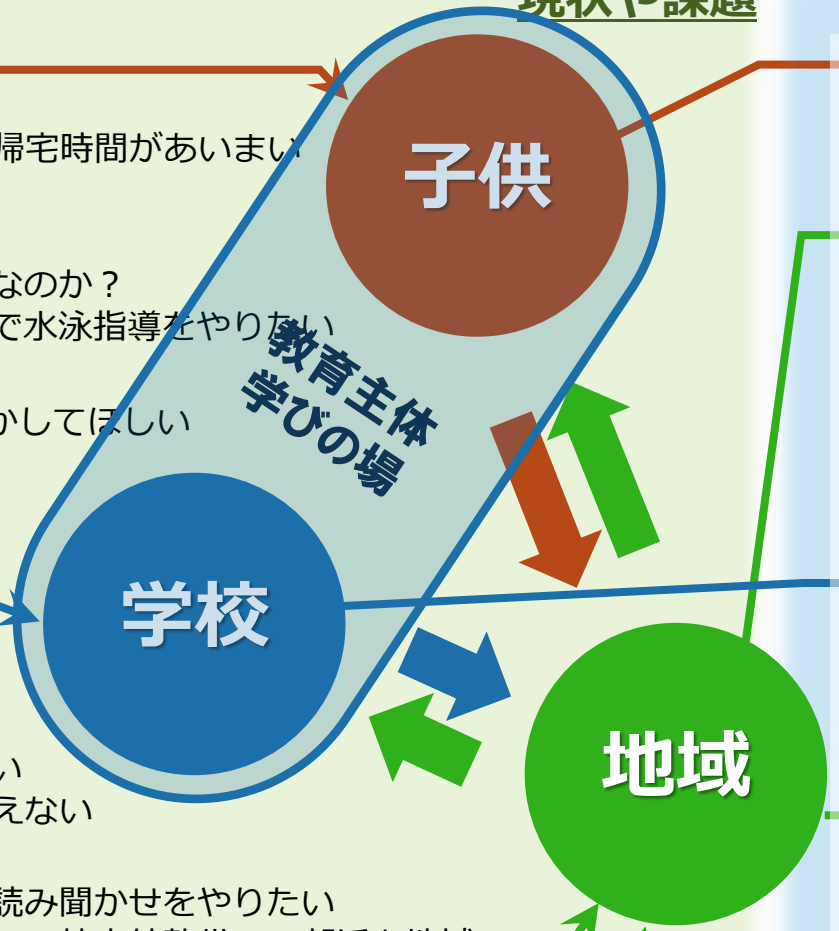
もっと地域を頼って
- 地域が発案・計画　・社協と仲よく　・読み聞かせをやりたい
- もっと地域の力を借りてもいいのでは？　・校内外整備　・部活を地域で

関係・つながり

希薄化
- 転出入多い　・近所との関係　・関わり
- ふれあいが少ない　・共働きで保護者忙しい
- 家庭での教育がわからない　・保護者同士の仲

取り巻く環境

あまりよくない…
- 環境悪い？　・遊ぶ場所が少ない
- 歩行者・自転車・車　・交通安全



今後の方向性

子供と地域の関わり
- 高齢者サロンにお茶しに来る
- わこうっこ、地域のボランティア

地域づくりとして
- イベントをやる　・お祭り　・地域とスポーツ
- あいさつの道（標語をはる）
- ネットワークを利用して発信
- 地域との連絡方法　・わぴあのプール
- 土木的な作業体験　・共働きへのサポート体制
- 組織体制整備（話し合う場等）

学校から家庭・地域への関わり
- 地域をもっと利用する　・先生が地域行事に参加
- 学校での学習と家庭での学習を明確にする
- 飲みに行く　・もっと話をする場をつくる

家庭・地域から学校への関わり

人材活用
- 野菜作り指導・畑お手伝い　・家庭科お手伝い
- 休み時間に校庭開放、大人が来る
- キャリア教育に企業の介入、GT活用

学校とのかかわり方
- 子供の見守り（信号等）　・行事交流を広げる
- パトロールへの参加　・学校の放課後利用
- 地域から声をあげていただく
- 家庭との連携の仕方工夫

プラットフォームの拡充
自治会、保護者の会、民生委員、コミュニティ・スクール
地区社会福祉協議会、公民館、学童、わこうっこ…

学校・教員　「教職員の負担軽減と学校行事」

現状や課題

学校行事等

・行事が少ない⇔行事の断捨離
・2学期に集中している　・行事をやれてよかった

その他

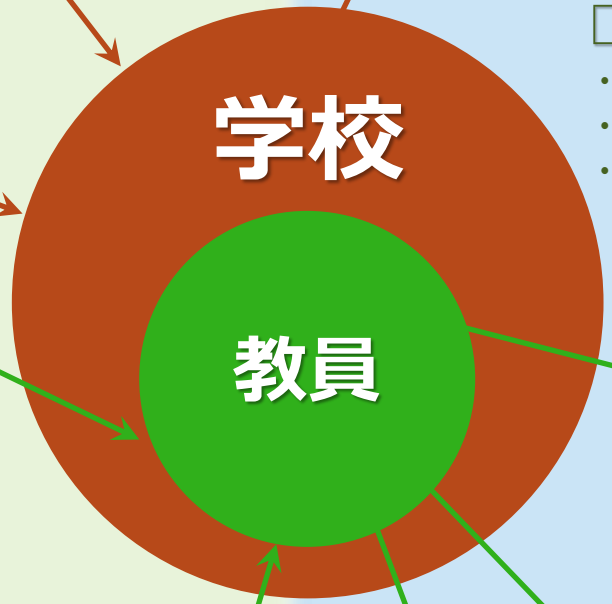
・保護者と話す機会が少ない
・外国人の子供の教育
・予算が少ない

負担・業務の見直し

・減らすべき（業務量、ICT、集金等）
・多いこと（教えること、保護者からの声？）
・仕事を増やすことを仕事にしている
・忙しいが、がんばっている
・休憩時間がない　・疲弊している　・教員不足
・（コロナで）2学期に詰め込まれている

連携・相談

・チームワークがよくなった　・相談する人はいるのか？



今後の方向性

学校行事の見直し・支援等

□内容の精選

・行事の整理　・役割の明確化　・徐々にできる範囲で
・私立を参考に新しい取組

□保護者・地域の支援

・（保護者・地域の方）行事に参加する
・保護者等に手伝ってもらう
・地域が発案・計画して行うのは？

体制整備

・教職員を増やす　・自由な先生を増やす
・サポーターを入れる　・保護者・地域の支援
・1学級を20人に　・学校を5時間にする
・ICT整備　・中・高連携

休暇・休息

・積極的に休む　・疲れるまでやらない

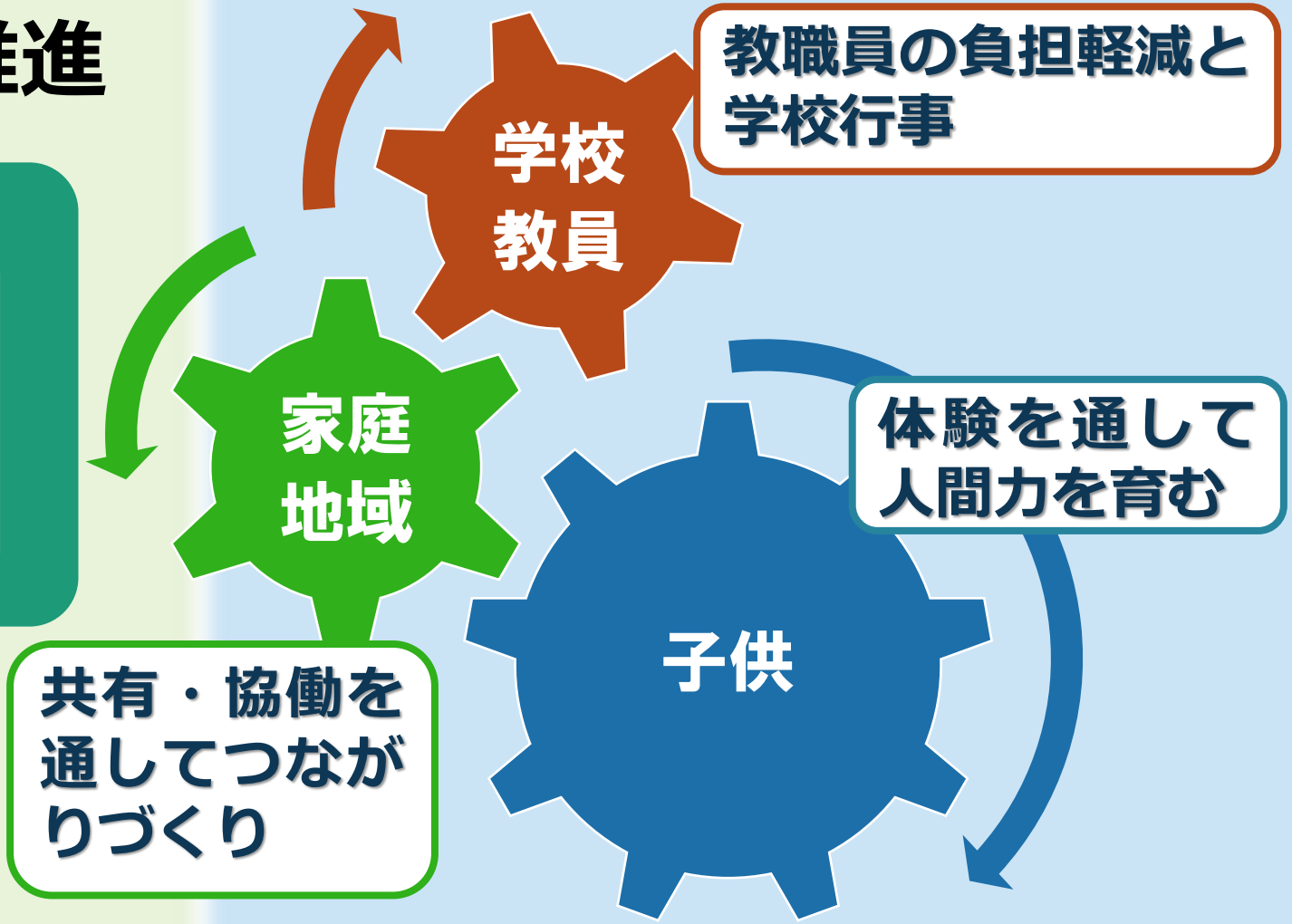
なり手を増やす

・教員の魅力発信　・やりがいの実感を伝える

全体まとめ「学校・家庭・地域による持続可能な学校づくり」

ポストコロナにおける、新しい学校づくりの推進

最近のトピックス

コロナ	ICT
制限から新たな活動・関わりへ	子供の積極的活用と大人の対応

新しい学びの
広沢「笑楽幸・省楽効」
づくりへ